



未来に 向けての 変化

CSR REPORT 2020

Vol. 5



未来に向けての変化



経営理念

私たち大谷清運(株)のスタッフ=OTANIマン・OTANIエンジェルは
人と地球にやさしい資源循環型社会の実現に貢献します。

私たちは“Re”の為の提案を通して、当社に関わる 全ての人々に安心と幸福、
そして利益をもたらす「真心込めて愛ある丁寧な仕事」を提供します。

★ Reの為の提案

「Re-Slim」、「RE-BORN」、Reduce、Reuse、Recycle、Reform、Refresh・・・etc.
“Re”モノとの関係を見直し、自分にとって本当に大切なモノを選択し、そのモノと大切に关わる生活を応援します。

★ OTANIMAN・OTANIエンジェル

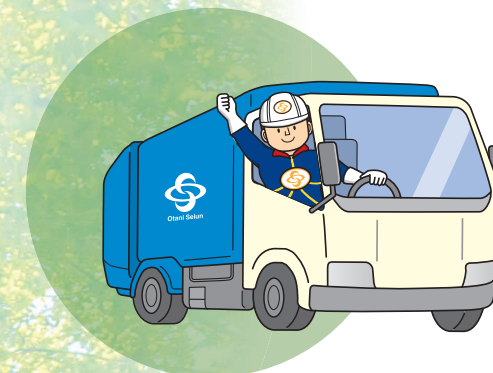
大谷清運のクレド(信条)“OTANI CREDO DIAMOND”を日々 生きる逞しいスタッフ!

平成28年4月1日



コーポレート
メッセージ

Re-Creation
あなたの環境を
ECO に繋げるお手伝い



オータニ
クレド
ダイヤモンド

私たちの幸せは
“大切なモノ”を大切に作る心を持って、
世界中の環境を護ることから始まります。

真心込めて愛ある丁寧な仕事

ALL HAPPY
— みんなが幸せ

OTANIMAN・
OTANIエンジェルへの約束
DREAMS COME TRUE
— CHANGE・CHALLENGE・CHANCE
～CATCH, そして CHAMPION —

チームOTANIとの約束
LOVE 大谷清運
— お互いを尊敬し、
感謝しあう仲間です

未来の地球との約束
地球防衛軍

— チームOTANIはこどもたちの未来のために

OTANIMAN・OTANIエンジェルと
チームOTANI
OTANI SPIRIT
— 気づき、考え、行動する人

お客様との約束
OTANIMAN・
OTANIエンジェルのPRIDE
— お客様にとびきりの満足を



ブランド
プロミス

4つの約束

OTANI マン、OTANI エンジェルは

1. 笑顔で元気な挨拶をします!!
2. 清潔な服装で仕事をします!!
3. 迅速で確実な対応をします!!
4. お客様が大好きです!!

INDEX [目次]

社長、専務インタビュー
未来に向けての変化 3

エッセンシャルワーカー
～新型コロナウイルスをうけて、
改めて仕事と向き合う～ 7

リサイクル 9

太陽光パネルの設置 11

障がい者雇用 12

リチウムイオン電池
による火災 13

その他のCSR活動 16

環境配慮への
取り組み推移 17

評価コメント 18

Interview 未来に向けての 変化



代表取締役社長
二木 玲子

エッセンシャルワーカーとして、
欠かすことのできない職業である。

代表取締役専務
羽田 裕美子

絶対に必要な仕事という
誇りを持っている。

新型コロナウイルスによるパンデミックは、
様々な影響をもたらした。
時代に対応するために
変わらなければならないこと、
どのような時でも変わらない信念、
未来に向けて今を
どう考えているかを語る。



新型コロナウイルスと エッセンシャルワーカー

新型コロナウイルスが広まり、世の中がリモート化していく中、私たちの業界はエッセンシャルワーカーとして、生活に欠かせない職業として、外に出て働かなければなりません。大谷清運(株)で働くOTANIマン・OTANIエンジェルの皆が感染予防対策をしっかりとってくれたおかげで、会社が止まることはありませんでした。インフルエンザやSARS等の時にもパンデミックが危惧されたことがありますが、日本にはそれほど広まったわけではありません。しかし、小さなニュースから伝わってきた新型コロナウイルスは、日常生活の全てが覆されるようなパンデミックとなりました。新型コロナウイルスは、今までの生き方や日々の生活を見直し、選択する機会を与えた

と思います。リモートワークをはじめとした働き方改革が起こっていた中、新型コロナウイルスによる影響でオンライン化は加速したと思います。以前からオリンピック開催の頃にはリモートワークをと言われていましたが、私たちの業界では難しいと感じており、今までの当たり前だった環境を見直すことはなかったと思います。

私たちの一番の本業である廃棄物処理業は、現時点では何ものにも代えられない大切な仕事です。いずれロボットによる業務の自動化が進めば、人の手が必要なくなるのかもしれませんが、自動化するまでは人が行わなければなりません。だからこそ、どうしても人頼みになってしまい、現場が動いている為、事務の仕事も止めることができませんでした。そういう状況があったからこそ、DXに対応できる体制を進んで作らなければならないと思うきっかけになりました。

- 8 働きがいも
経済成長も
- 9 産業と技術革新の
基盤をつくらう
- 10 人や国の不平等
をなくそう
- 11 住み続けられる
まちづくりを
- 12 つくる責任
つかう責任
- 13 気候変動に
具体的な対策を



私たちの仕事は、どのような時でもごみを回収しなければならないので、感染予防対策として、いち早くマスクと消毒液を手配しました。その少し後からマスクが品薄で手に入らないという状況となり、新型コロナウイルスは世の中をひっくり返すような力を持っているのだと思い知りました。そのような時でも、外に出なければならなかった運転手や作業員は、不安や恐怖を感じていたかもしれませんが、消毒や対策を講じたことで、他所に迷惑をかけることなく仕事を進めることができました。なにより、全てのスタッフが仕事に対する責任感をきちんと持ってくれているということが頼もしくありました。

また事務に関しては、一時期最低の人数だけ出勤するというスタイルをとりました。その際に、仕事の振り分けや自分にしかできない仕事のマニュアル化が進み、全体的な仕事の見直しができたのではないかと思います。

対面から オンラインへの変化

初めてオンライン会議を行ったのは、2020年の4月でした。そしてすぐにオンラインでの会議が当たり前となりました。一つの会議に全国の人がその場で参加したという会議もあります。そして、講義を受けるといった一方的に受けるものはオンラインでも問題がないと知りました。しかし、自分の気持ちを伝えたり相手の気持ちを汲み取ることは、実際に会わないと伝わらないと感じます。オンライン会議は便利ではありますが、実際に会うことの大切さも知ることができました。画面越しでマスクとなると、表情がほとんどわからなくなってしまいます。熱意が伝わりにくいというのが、オンラインの弱点ではないかと思いました。リモートワークが普及することにより、人間関係の強さや濃密さも変わってくるのだと思います。

デジタル化に対応するための 課題

私たちの業界でもデジタル化が進み、仕事内容が変わっていくと思います。

2020年暮れからDX(デジタルトランスフォーメーション)という言葉をよく聞くようになり、デジタル化に向け世の中が大きく変わる前兆が新型コロナウイルスだったのかなと感じています。

そういう状況があったからこそ、世の中の流れとしても、大谷清運(株)もデジタル化に対応できるようにしなければならないという意識が高まり、DXの導入を進めるきっかけになりました。

そして、そこに対応していけるように体制を強化していく必要があると思っています。課題はたくさんありますが、それを見つねながら皆と一緒に課題の解決に取り組んでいく必要があります。私たちの行っている仕事は、世の中の役に立っている事業であると明確にし、プライドを持って仕事をする、それを社会に伝えていくことが課題の一つだと考えています。

また私たちの仕事は、リモートワークが不可能と思ってしまいますが、可能にしなければならないと思います。会社に出社することも必要ですが、出社しなくても問題がないようにしないといけません。未来に備えるということも含めて、出社しなければ仕事はできないという時代は終わりなのかもしれません。

しかし、それによって人と人との繋がりが疎遠になるのではなく、そのような中でも繋がっていきえるよう考えていかなければならないと思います。

時代とともに変わっていくものですが、新型コロナウイルスの影響もあり、デジタル化への意識が加速したことで、より強くそう感じます。

私たちの仕事は、実際に運転手や作業員が車に乗って回収する仕事なので、リモートワークは不可能です。そしてそれに付随する事務の仕事もリモートワークは不可能と思っていたのですが、可能かもしれないということに気づかせて頂きました。例えば、回収場所の作業を機械が行うようになるかもしれない、自動運転のごみ収集車ができるかもしれない、そういったことは未来の話だと思っていたのですが、実現はそんなに先のことはないのかもしれませんが。(実際に北欧では検討されています。)

現在は回収作業の人手不足と言われていますが、デジタル化によってこれから変化するかもしれない、そんな風に思います。



取材を終えて
前列左から、二木玲子社長、羽田裕美子専務、
後列左から、石井杏果、梅津瑞生

8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



10 人や国の不平等
をなくそう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



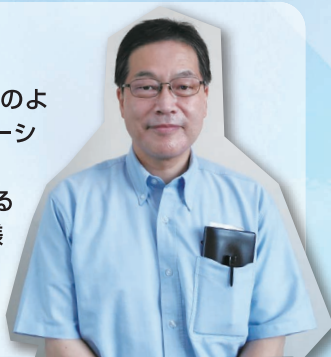
エッセンシャルワーカー

～新型コロナウイルスをうけて、改めて仕事と向き合う～

営業企画部 野崎部長

廃棄物処理業は、生活を営む上で止めることのできない仕事です。コロナ禍になり、どのような状況でも働かなければならない「エッセンシャルワーカー」だと強く意識し、モチベーションの上がる1年となりました。

営業は、お客様と接する機会が多い仕事です。お客様との会合等はリモートで開催することが多くなりましたが、直接お会いすることはまだ多くあります。今後は、直接お客様と触れ合わなくても対応できるようにしなければならないと考えています。そしてこういう時だからこそ、人と人との繋がりを大切にしたいと思っています。



業務部 運輸課 小川次長・湯浅課長

私たちは、産業廃棄物と一般廃棄物の回収をしています。産業廃棄物は、事業活動の自粛や人の動きが止まったことが影響し、減少傾向にあります。反対に一般廃棄物は、外出の自粛やテレワークの影響で家にいる時間が多くなったため、家庭ごみの排出量が増加しました。

産業廃棄物の減少に伴い、運輸課では車両の数を減らし、回収ルートや出庫時間の見直しを行うことで、スタッフの動きを変化させ、コストの削減に努めました。また社内会議のあり方、教育研修においても感染対策を徹底し、以前とは違った方法で実施しています。

私たちの仕事は、何があっても働き続けなければなりません。過去には東日本大震災や大型台風等で都内の電車が止まった時、そして現在のコロナ禍における自粛期間中においても事業活動を続けてきました。私たちの仕事である廃棄物回収は、人々の生活に欠かせないことです。そして、循環型社会に貢献するため、再び資源物として生まれ変わらせるリサイクルの気持ちになって、ペットボトル、缶等の資源物を1本たりとも無駄にせず、エッセンシャルワーカーとしての誇りと使命感を持って仕事をしています。



業務部 清掃業務課 ホテルニューオータニ事業所 金子所長

2020年の2月頃から新型コロナウイルスの影響が出始めた時、仕事内容に変化はありませんでしたが、ホテル内の宴会のキャンセルにより仕事量は減りました。

感染対策としては、元々ノロウイルスの対策を行っていたため、変化はありませんでしたが、より徹底的に対策を行いました。新型コロナウイルスの感染を疑われた場合、長期で休まなければならないので、感染に気を配りながら働いています。

コロナ禍を通じて、止めてはいけない仕事だということを改めて感じました。震災の時も感じましたが、衛生環境を守るのは自分達の仕事であり、時間がかかってもやらなくてはならない仕事だと思っています。



環境事業部 (RE-BORN 2010) 小林統括所長

RE-BORN2010では、産業廃棄物を取り扱っており、コロナ禍で変化したことは2つあります。1つ目は、産業廃棄物の減少です。ホテルや商業施設の産業廃棄物が減少したことにより、コロナ禍以前である2019年の年間搬入量を比べると2020年の年間搬入量は443tも減少しました。

2つ目は、閉店や店舗移転、倒産やオフィス移転による産業廃棄物の増加です。仕事が増えて嬉しい反面、次の仕事が無くなってしまいうということでもあります。産業廃棄物を扱う業者にとっても、コロナ禍による影響は大きく感じます。しかし、搬入量が減ったことによるメリットもあります。より細かくごみの選別を行えるようになり、「リチウムイオン電池」といった搬入できない危険物を見つけ出すことができるようになりました。

コロナ禍になってから、より産業廃棄物の扱いに気を付けています。なぜなら新型コロナウイルス感染者が使用した廃棄物が搬入される可能性があるからです。そのため、扱う際は直接触らないように徹底しています。コロナ禍だからとごみを選別せずに処分することもできますが、RE-BORN2010では「リサイクル第一」でしっかりと選別を行っています。



環境事業部 RE-BORN 2000 霜鳥副所長

RE-BORN2000では、PETボトルとプラスチック製容器包装を取り扱っています。緊急事態宣言が発令されてからは、プラスチック製容器包装の搬入量が例年の約1.5倍に増加しました。

しかし、多くの人がステイホームで生活するようになったため、搬入量が増加しただけではなく、分別の質も落ちてしまいました。そのような状況の中でも、工場内ではしっかりと選別作業をするため、改めて作業スタッフにプラスチック製容器包装の選別動画を見せて、正しい選別方法の確認を行いました。

また週1回、成形したベールを解体して選別状況の検査を実施し、取り除かなければならない異物の確認をしながら作業スタッフのスキルアップを図りました。その結果、作業スタッフの頑張りもあり、コロナ禍でもベールの品質を維持することができました。

新型コロナウイルスの感染対策では、普段から「手洗い・うがい」をするように注意喚起していましたが、更なる徹底をしました。その他の対策として、休憩スペースには限りがあるため、作業計画を工夫して休憩時間を2交代制から3交代制にしました。休憩室が3密にならないようにすることと、派遣スタッフと弊社スタッフの出退勤時間が重ならないよう調整しました。

RE-BORN2000では、東京都の各区の仕事を受託しているため、決して工場を止めるわけにはいかないという強い信念を持って業務に取り組んでいます。



環境事業部 RE-BORN 2018 森工場長

RE-BORN2018では、一般廃棄物のペットボトルと産業廃棄物の缶、ビン、ペットボトルを取り扱っています。緊急事態宣言が発令されてから、ステイホームにより家庭で消費するペットボトルが増え、回収量は例年の1.5倍にまで増加しました。反対に会社、ホテル、商業施設等が休みとなり、産業廃棄物の缶、ビンは例年の1/3まで落ち込みました。

感染対策としては、「手洗い・うがい」を心がけ、トイレは毎日欠かさず掃除するようにしています。また極力無理をせずに働くことを心がけています。具体的には、密を避けるため、公共機関が混まないうちに退勤するよう心がけ、残業しないことで身体に負担をかけないようにしています。



3 すべての人に健康と福祉を



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



12 つくる責任つかう責任



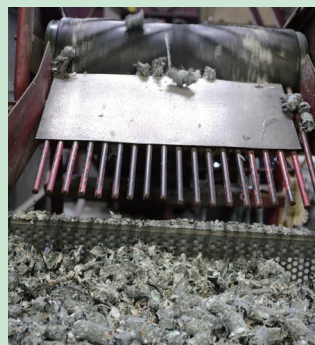


RE-BORN 2010

RE-BORN2010では、古紙と廃プラスチック類を圧縮固化する固形燃料、RPFを製造しています。RPFの中身は7割がプラスチック、残りが紙と木でできており、大谷清運(株)では週に1回、成形した3tのRPFを製紙工場へ運んでいます。

RPFは、製紙工場のボイラーの燃料に使用されているため、塩素が入っていると炉が腐食してしまいます。そのため塩化ビニルが混入しないように選別を行い、そうした選別をしっかりと行うことで品質が安定し、不純物の混入が少なくなります。また本社には、RPF資源用の箱が置いてあり、社内でもRPF製造への意識を持っています。

さらにRPFは、石油等の原料を使用するよりもCO₂が40%削減されます。原材料の中には石油が入っていますが、石油をそのまま使用するよりは環境負荷が少なくなります。



RPF成型機



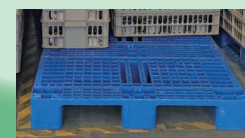
RPF



選別作業



容器包装
プラスチックの
ベール



プラスチック製
パレット



プラスチック製容器包装 ベール

RE-BORN 2000

RE-BORN2000では、中間処理工場としてプラスチック製容器包装を圧縮し固めたベールが作られています。ベールは1つ約280kgあり、1日に約100個作られています。

ベールの品質を保つために、作業スタッフはプラスチック製容器包装選別の動画をみて勉強しています。また週に1回ベールの品質検査を行い、選別すべき異物の確認を行います。

2020年度では、ベールは主にプラスチック製パレットのリサイクル原料となっています。ベールをリサイクルして出来るものの例としては、食品の容器やパレットがあり、他にも様々なものにリサイクルされています。



コンポスト プラント

ホテルニューオータニ 営業所

ホテルニューオータニ内にある営業所の仕事の一つに、コンポストプラントでの生ごみの堆肥化があります。ホテルニューオータニ様の循環型施設であるコンポストプラントを使用し、ホテルで排出された生ごみを堆肥へと変換する循環型リサイクルです。

生ごみは、1日に約1200kg排出されていますが、コロナ禍の影響により2018年以前の1日約3000～3500kgと比べると3分の1に減少しました。生ごみ自体はほとんどが水分でできているため、コンポストプラントを通り水分が蒸発すると軽くなり、1200kgあった生ごみは350kgの堆肥となります。

コンポストプラントにより作られた堆肥は、コンテナに3t溜まるまで保管し、堆肥を発酵させる場所まで運搬されます。発酵した堆肥は契約した農家で使用され、そこで作られた野菜はホテルニューオータニ様で購入し、従業員食堂にて提供されています。

2020年度の生ごみのリサイクル率は92%となっており、残りの8%は金属等の異物が混入しメンテナンスのためにコンポストプラントを停止して使用できなかった分や、大きな骨・貝殻・フカヒレ等のリサイクルすることができない生ごみの分となります。これらのリサイクルすることができなかった8%は、可燃ごみとして処理されています。

生ごみのリサイクル率を上げるために、コンポストプラントを止めてしまう原因でもあるスプーン等の異物混入を無くすよう、ホテルニューオータニ様と協力し、生ごみ分別を徹底する注意喚起を行っていきたいと思います。



コンポストプラント



堆肥

RECYCLE リサイクル



ペットボトルを圧縮



完成したペットボトルベール



ペットボトルベールと リサイクル率

RE-BORN 2018

RE-BORN2018では、ペットボトルを圧縮して固めたベールが作られています。一般廃棄物のペットボトルから作られたベールのほとんどは、ペットボトルとして再生されています。ごく一部のペットボトルは、衣類やその他のプラスチックに生まれ変わっています。

産業廃棄物のペットボトルから作られたベールは、昔はリサイクルが困難でしたが、現在では技術や設備が良くなり、ラベルやキャップが付いていたり、飲み残しがある状態でもリサイクルできるようになりました。

ベールの品質を保つために、「ペットボトルの保管ヤードから手作業で異物を抜き取る」作業を行っています。ペットボトルを回収する作業員がその場で異物を取り除ける量は全体の70%であり、RE-BORN2018では残りの30%を取り除くということになります。しかし全てを取り除くことは難しく、分別できているのは約90%となっています。

RE-BORN2018で取り扱われている一般廃棄物と産業廃棄物のペットボトルと産業廃棄物のビン、缶のリサイクル率は、約90%となっています。残りの10%は、ペットボトルでもリサイクルできないものや、産業廃棄物のビン、缶、ペットボトルで汚損が激しいものがあります。また一般廃棄物のペットボトルの中には、シャンプーボトル等のプラスチック容器やビン、缶が入っていることがあり、それらは残念ながらリサイクルすることができません。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



ECO 太陽光パネルの 設置

本社 RE-BORN2010

2020年7月に本社、11月にRE-BORN2010に太陽光パネルを設置しました。これにより当社のSDGs活動の一つであるCO₂排出削減に大きく貢献しています。

本社で発電した電力は、消費電力の多いエアコンやパソコン等で使用されています。RE-BORN2010では、消費電力の多いRPF成型機や破砕機等に利用されています。また災害で停電した時にも、蓄電した電気を使用できるようになっています。

太陽光パネルを設置したことにより、電気料金も大幅に節約することができました。本社では設置から9か月(7月～3月)で約10万円、RE-BORN2010では設置から5か月(11月～3月)で約48万円の節約になりました。

大谷清運(株)は、これからも地球環境を大切に活動を持続していきます。



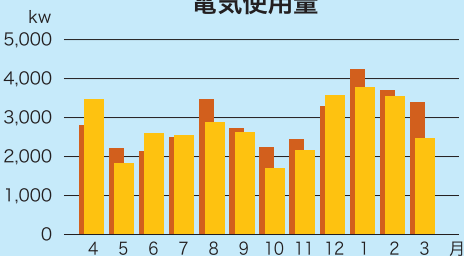
本社



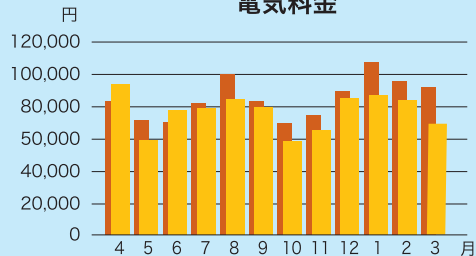
RE-BORN2010

■ 2019 年度 ■ 2020 年度

電気使用量



電気料金

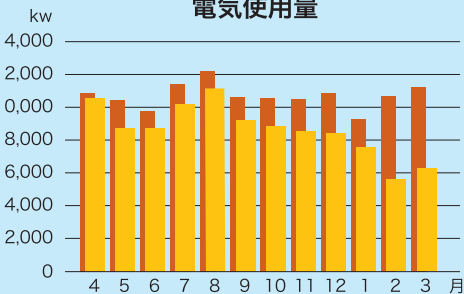


本社

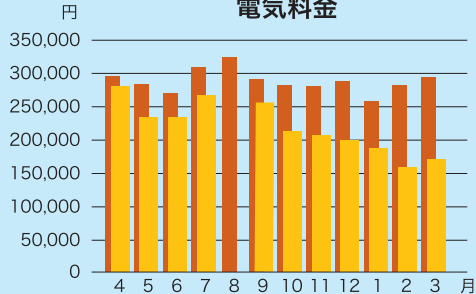
7月に
太陽光パネルを設置

■ 2019 年度 ■ 2020 年度

電気使用量



電気料金



RE-BORN
2010

11月に
太陽光パネルを設置

・8月は無料キャンペーンのため、電気料金はかかっていない。

障がい者雇用

障がい者受け入れの経緯

〔二木社長 羽田専務〕

「RE-BORN(生まれ変わる)」という意味が込められた中間処理工場を建設する際、環境への配慮だけではなく、人にとっても役に立つ施設にしたいという思いがありました。

そして、RE-BORN2010が建設される際に、NPO法人のWEL'S様と知り合い、施設外就労の場を提供することになりました。働く人の人生に意味ややりがいを持ってもらいたい、障がいを持っていても働きたいという人にとって、大谷清運(株)が就労のきっかけになればと思っています。



学生就業体験(本社)の様子

障がい者雇用と 就業訓練施設の提供

RE-BORN2018

RE-BORN2018では、施設の半分を就業訓練施設として提供しています。大谷清運(株)が就労施設の提供を始めたのは、今から10年以上前になります。受け入れ始めの1～2年間は試行錯誤し、大谷清運(株)の作業スタッフが手伝いながら就労を行っていました。それから段々と自分たちのやり方を見つけていき、今では自立して就労できるようになりました。処理作業も遅れることなく全て終わらせてくれるため、とても助かっています。

また大谷清運(株)の作業スタッフにも障がい者の方がおり、主に圧縮機にかけて出てきたペットボトルのベールを積み上げる仕事と、工場内の清掃を行ってもらっています。障がいの度合いや性格によって付き合い方は変わってくるので、その方にあった関係を築きながら共に仕事をしています。



RE-BORN2018内
WEL'S新木場
施設外就労の様子

学生就業体験 経営管理部



年に数回行っている学生就業体験では、3つの実務を行っています。1つ目は、伝票や回収表の数量実績をExcelまたはシステムに入力する業務。2つ目は、入力後の伝票の仕分けとファイリング業務。そして3つ目は、ゴム印や手書きによる伝票処理業務です。

就業体験を行う前には必ず学生との面談があり、その情報を基にスケジュールを考えています。学生の就業体験への思いを汲んで目標を達成できるよう、明るく楽しい雰囲気作りや健康面にも配慮し、緊張をほぐしつつ、少しでもリラックスして業務に取り組めるよう心掛けています。

大谷清運(株)にとって、学生に仕事を教えるということは、人に対しての心配りや言葉遣い、話し方を学ぶ事ができます。また教えるために自分の仕事を一度整理するので、その仕事への理解を深めることができます。体験に携わる中で、学生が一生懸命仕事をしている姿を見ると、初心を思い出し、逆に自分たちが成長する機会を与えて頂いているのだと感謝しています。

就業体験をした学生には、大谷清運(株)のモットーである「真心こめて愛ある丁寧な仕事」を体験することで、これからの人生に役立ててもらえたらと思います。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



10 人や国の不平等
をなくそう



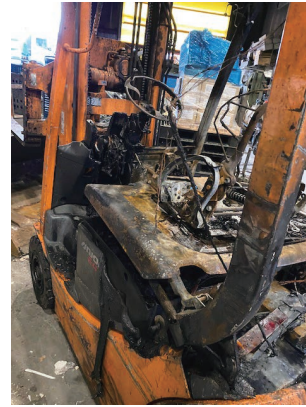
リチウムイオン電池による火災

2020.5.15

小火事故 発生

2020年5月15日(金) RE-BORN2010

従業員が全員退社した後に火災が発生し、外に煙が漏れていたことから警備会社より早く近隣住民の方が気付いて、119番通報するに至りました。出火の原因は、工場内に置かれた充電電池が何らかの要因で内部短絡し、発火したものと考えられます。火災により電源が断たれたことで、開閉することのできなくなった重量シャッターと火元のそばにあったシャッター開放装置も焼損してしまい、シャッターを切断しての消火活動となりました。工場内の焼損は、床や天井、フォークリフトやシャッター、電気設備に及び、また黒煙が配管を通ったことにより、配管はもちろん2階の会議室といった内部等、被害は広範囲に及びました。被害が敷地外に及ぶことはありませんでしたが、近隣住民の皆様には恐怖を与え、多大なるご迷惑をおかけしました。



焼損したフォークリフト

リチウムイオン電池の 危険性

リチウムイオン電池は、衝撃が加わると内部に不具合が生じて発熱、発火することがあります。RE-BORN2010では、廃棄物にリチウムイオン電池が混入し、破砕機に入ってしまうことが原因で起きる「破砕発火」が平均で月に1、2回発生しています。また衝撃を与えていない場合でも、故障後の時間経過で内部ショートを起こし発火する「自然発火」の可能性があります。リチウムイオン電池は、エネルギー密度が高いことが特長であるため発火威力が高く、ひどい時には爆発も起こります。

リチウムイオン電池は、身近なものに多く使用されているため、故障や不要となって廃棄された機械のバッテリーとして、廃棄物に混入することがあります。現時点では延焼等の被害には至っていませんが、常に火災の危険と隣り合わせの作業となっています。



選別で発見されたバッテリー (RE-BORN2010)

破砕機から発火する様子

リチウムイオン電池による火災の

対策



大谷清運(株)では、リチウムイオン電池をはじめとした二次電池は取り扱っておりません。しかし、搬入された廃棄物に含まれていることがあります。

破砕発火の防止対策として、前処理の選別時の抜き取りが必要となります。しかし、何かに包まれていたり隠れていることで、完全に抜き取ることが難しい状況となっています。破砕発火が起きた際、破砕機の中には燃焼カロリーの高い廃プラスチック類があるため、延焼しないようすぐに消火活動を行っています。

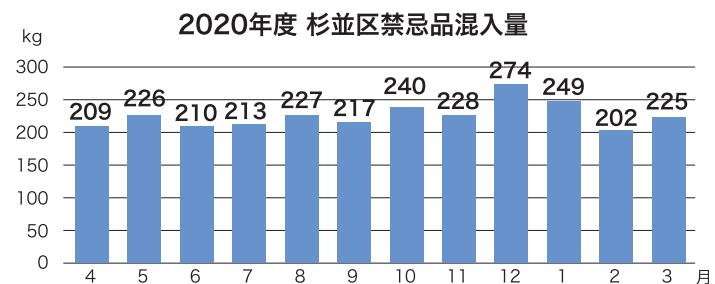
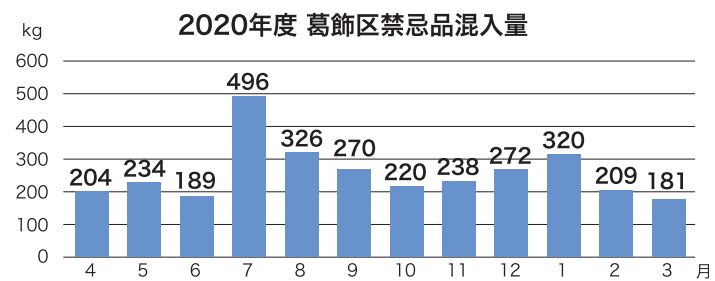
以上の危険性から、火災が起きないように今後も対策を講じ、廃棄物に混入することがないように、リチウムイオン電池の危険性を企業から一般家庭にまで周知していかないとなりません。

RE-BORN2000では

搬入されたプラスチック製容器包装の中には、リチウムイオン電池やライター等の危険物が混ざっていることがあります。その中でもリチウムイオン電池は、電子タバコの機械や小型扇風機に使用されています。

リチウムイオン電池をはじめとした危険物を取り除く対策としては、事前の選別を徹底的に行うしかありません。危険物のほとんどは手選別及び磁選機で取り除くことができますが、磁選機でも選別出来るものと出来ないものがあるため、手選別は重要な作業となります。

選別を行う上で、プラスチック製容器包装を排出する方々にお伝えしたいことは、今後火災を起こさないためにも、排出物の中に生ごみやプラスチック製品ではない危険物が混ざらないよう、まずは排出前の分別にご協力をお願いします。



混入した禁忌品 (RE-BORN2000)

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを

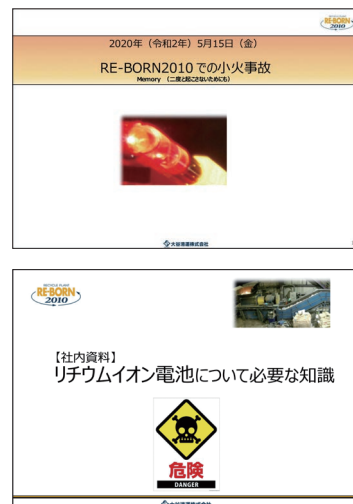


12 つくる責任
つかう責任



リチウムイオン電池 による火災の

対策



作成した資料

営業企画部では

2020年5月にRE-BORN2010で起きたリチウムイオン電池による火災を受け、社内で作成したリチウムイオン電池による火災の危険性についてのリーフレットを持ち、お客様に直接混入防止についての説明に行きました。直接伺うことができない場合は、郵便で送る等の方法で対応しました。

火災を二度と起こさないために営業企画部として出来ることは、お客様と打ち合わせを行う際に必ず確認を行い、丁寧な分別を心掛けて頂けるように説明していくことです。また一度だけの説明で終わらせるのではなく、何度も繰り返し説明することが大切だと考えています。日が経ってしまうと分別について忘れ、禁忌品を排出してしまうことがあります。そのため、説明をしてから3か月、そして半年経過したらもう一度声掛けを行い、何度も確認することを心掛けています。



リチウムイオン電池による火災の危険性のリーフレット



営業会議の様子

リチウムイオン電池による火災 2020.5.15

RE-BORN2010では

2020年5月にRE-BORN2010で起きたリチウムイオン電池による火災を受け、リチウムイオン電池の危険性を知り、「少しでも工場内の危険性を無くしたい」という想いを強くし、今後の参考となる資料を作成しました。今までは、工場で火災が起きた時の詳細情報があまり残されていませんでしたが、これからは将来的にデータとして伝えられるようにレポートや記録を残していきます。

火災対策としては、新たに炎センサーと自動消火剤を早急に取り付けました。現在は防火設備のほかにも、終業時間後の17時から18時に毎日工場内の見回りを行っています。

また、リチウムイオン電池が危険なことを世間一般の方にも知ってほしいと思います。私たちは火災を起こしてしまった企業であるため、「危険なものを混入させてはいけない」と堂々と訴えるべきだと思っています。

そして、リチウムイオン電池とは違い、引火しない次世代のバッテリーがすでに開発されています。この先、リチウムイオン電池は次世代バッテリーに置き換わっていくと思いますが、それまでにリチウムイオン電池による火災を無くすることが大切だと思います。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくる



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



■ その他のCSR活動 ■

環境学習を小学校にて 初の出前講座

2020年9月25日（金）、10月15日（木）に、足立区内2校の小学4年生を対象に環境学習「ふれあい講座」を開催しました。例年では、RE-BORNにお招きして工場見学・環境学習を行っていましたが、本年は新型コロナウイルス感染症対策として、体育館や教室でクイズを交えながら工場の様子を説明する動画を見ていただく、短縮版の出前環境学習となりました。



足立区内小学校の出前授業の様子

ぬり絵コンテスト

コロナ禍において、大谷清運（株）ではステイホーム中でも子どもたちに楽しんでもらえるよう「おうちで遊ぼう！ OS オリジナルぬり絵キャンペーン」を開催しました。足立区内の小学校の皆様より、素敵な作品を沢山ご投稿頂き、その中から最優秀賞1点・優秀賞数点を選出しました。最優秀賞を受賞された方には図書カードを贈呈し、出前環境学習の際に表彰を行いました。

小学生から
投稿された
ぬり絵作品



最優秀賞



優秀賞（抜粋）



優秀賞（抜粋）

文京学院大学との産学連携プロジェクト 「まちラボプロジェクト演習」

2019年より参加を始めた「まちラボプロジェクト演習」は、東京都文京区向丘にある文京学院大学の授業にて、大谷清運（株）と学生が産学連携しています。

SDGs 12の「つくる責任・つかう責任」から「ビニル傘のリサイクル」をテーマにして、環境問題に目を向け、まちの活性化について1年間にわたり活動するプロジェクトです。

2回目となる2020年度の活動は、主にリモートでの授業開催となりましたが、「ビニル傘リサイクル」を進めるための情報発信（ポスター製作、環境学習用教材）の模索、作成を行いました。

学生が作成した
ビニル傘のリサイクルについて伝えるポスター（抜粋）



プラスチックごみの影響を
一番受けている海が題材



身近にある
ビニル傘ごみを題材

参考：文京学院大学 まちラボ本郷 「まちづくり研究センターホームページ」より
まちラボ本郷のプロジェクト紹介と特設ブログ内 最終報告プレゼン資料より抜粋
<https://www.u-bunkyo.ac.jp/center/machi-labo/cat3030/>

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくる



11 住み続けられる
まちづくりを



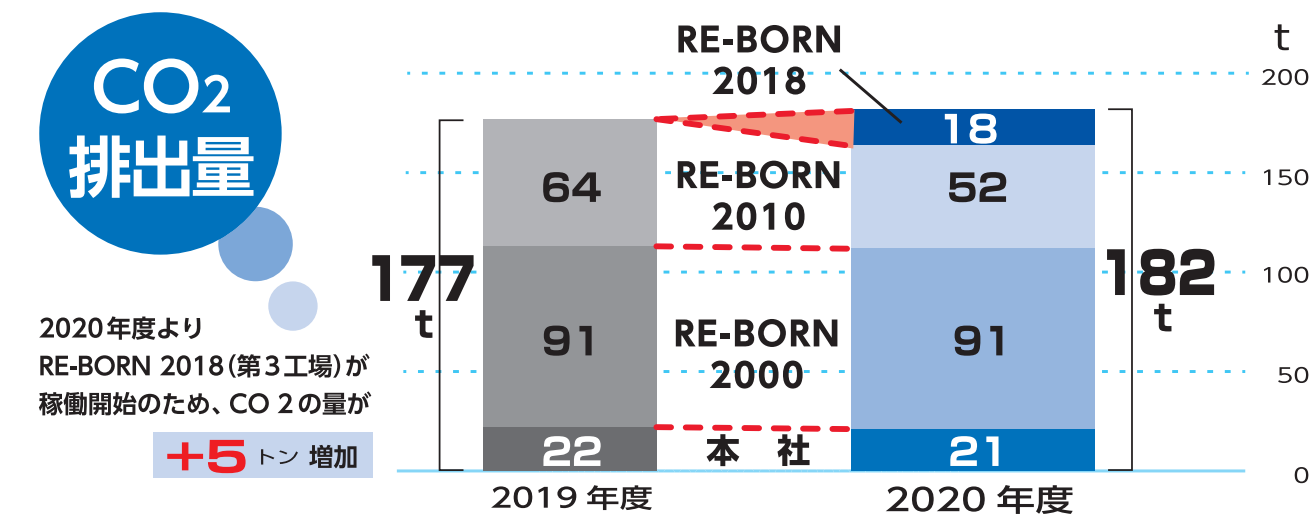
12 つくる責任
つかう責任



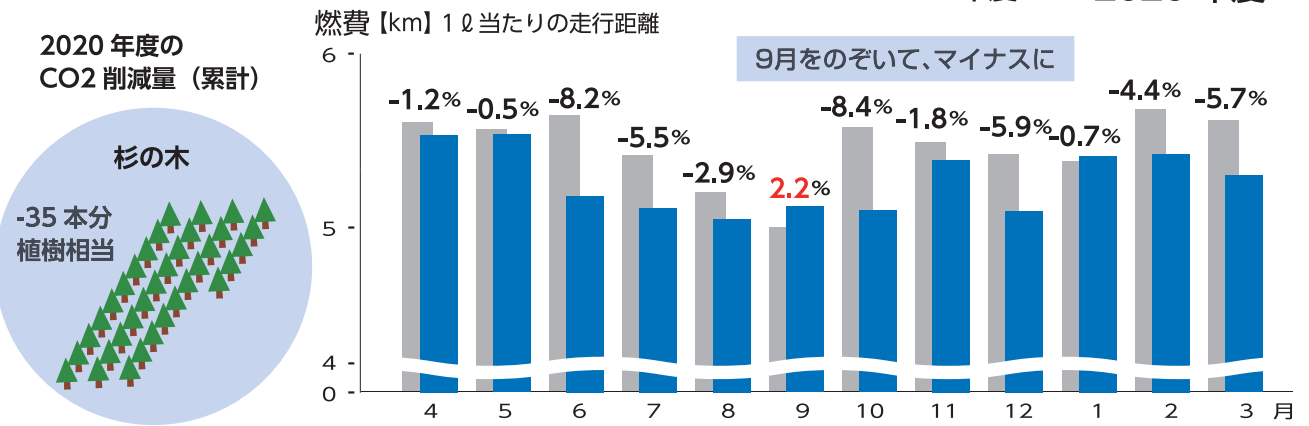
13 気候変動に
具体的な対策を



2020年度 大谷清運(株)環境配慮への取り組み推移



エコドライブ実施による燃費削減量



CSRレポート2020を制作して

CSRレポートを制作する際、新入社員研修で大谷清運(株)の様々な部署へ見学や研修に行かせて頂いたことが、会社のことを理解するだけではなく、CSRレポート制作への土台となりました。

CSRレポートを制作していく中で、ごみの排出量や働き方等に新型コロナウイルスが与えた影響を知ることができました。また、ごみ処理やリサイクルを行っているだけではなく、障がい者雇用や環境学習など環境や社会に貢献するために様々な活動を行っていることに驚きました。思うように進めることができず、制作に時間がかかってしまいましたが、印象に残ったことを形にできたのではないかと思います。

経営管理部
石井杏果 梅津璃生
(2021年度入社)

第三者からの 評価コメント

「まちラボプロジェクト演習」で産学連携させていただいた文京学院大学の中山智晴教授に、2020年度のCSRレポートのコメントと評価をいただきました。

文京学院大学 人間学部 コミュニケーション社会学科
中山 智晴 教授

企業の成長戦略と社会・環境課題の解決を両輪に経営戦略を深めていく必要性が謳われている中、貴社の取り組みは、経営理念である「人と地球にやさしい資源循環型社会の実現に貢献します」を柱に、一貫して「当社に関わる全ての人々に安心と幸福、そして利益をもたらす真心込めて愛ある丁寧な仕事」をまじめに遂行している点が評価に値する。

社会課題の解決に向けては、たとえば、貴社の「RE-BORN(生まれ変わる)」という意味がこめられた中間処理工場の運営一つを見ても、廃棄物を生まれ変わらせる施設にとどまらず、障がい者雇用、就業訓練施設の提供、学生就業体験など、人にとっても役に立つ場として、新たな社会創造、SDGsの推進に大きな貢献をしている。また、リチウムイオン電池による火災対策にも力を入れ、危機対応管理への取り組みにも前向きである。

環境課題の解決に向けては、廃棄物を効率的に処理するにとどまらず、RPFによる廃プラスチックの再利用などリサイクル推進化への積極的参入、本社などへの太陽光パネル設置によるCO₂削減化に向けた具体的行動が評価に値する。さらには、将来的にごみを大幅に削減化するための取り組み、特に、子どもたちへの環境出前講座にも力を注いでいる点は注目し値する。

このような仕事は、全従業員が自分はソーシャルワーカーとして働いているという自覚、さらには、その自覚を促すような社内教育が実直になされてきたことに起因している。

評価項目	評価	好意を抱く点	改善を望む点
人 権	3/3 点	社員の人権尊重、働きやすい職場環境の実現と維持	人権啓発への社員研修会の定期的実施
労 働	3/3 点	社員が活躍できる職場環境の整備	将来的にはサプライチェーンを含めた労働環境の改善が必要
環 境	3/3 点	より環境負荷の低い製品開発や新エネルギー事業など環境保全型の技術開発に積極的に取り組んでいる	再エネ導入によるCO ₂ 削減の数値目標(将来の目標値)の設定
腐敗防止	2/3 点	ソーシャルワーカーとしての自覚を促す社内教育	社員に腐敗防止を徹底するため、コンプライアンス研修の定期的実施

3 点満点中

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための 17 の目標

SDGs … Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標とは貧困や不平等・格差、気候変動などのさまざまな問題を解決すべく世界各国が合意した 17 の目標です。大谷清運(株)ではすでに SDGs の理念を仕事や価値観に取り込んでおり持続可能な社会への貢献に積極的に取り組んでいます。



Otani Seiun

あなたの環境をECOに繋げるお手伝い

大谷清運株式会社

フリーコール

0120-965-554



〒125-0032 東京都葛飾区水元1-3-13 TEL.03-3600-5561 FAX.03-3600-5563

E-mail/info@otaniseiun.com <http://www.otaniseiun.com>

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

R200

古紙パルプ配合率80%再生紙を使用

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

2021/12/700 RS